

## ■一般社団法人日本病院薬剤師会における日病薬病院薬学認定薬剤師制度(予定)\*

※日本薬剤師研修センターと日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位申請はいずれか一方のみの発行となります。

## ■日本臨床衛生検査技師会における生涯教育点数(予定)

取得点数：2日間＝上限10点

生涯教育点数を取得したい方はご自身でお手続きください。

## ■日本作業療法士協会における生涯教育制度ポイント(予定)

取得ポイント：参加1ポイント、発表1演題につき1ポイント

ポイントを取得したい方はご自身でお手続きください。

## ■日本言語聴覚士協会における生涯学習プログラムポイント(予定)

取得ポイント：参加1ポイント、研究発表1ポイント

ポイントを取得したい方はご自身でお手続きください。

\*参加の証明については参加者証(本人氏名が記入されたもの、学術総会公印付)を、発表者の証明については発表したことが証明できる資料(抄録のコピー等)をご自身で保管し、生涯学習プログラム修了証申請の証明書類としてご提出ください。

## 【専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等について】

本学術総会への参加または発表につきましては、公益社団法人日本看護協会の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等として申請が可能です。手続きには、参加の場合は参加証、領収書のいずれか1点、発表の場合は、目次および抄録が必要です。保管の上、ご自身で手続きをお願いします。詳細は、公益社団法人日本看護協会のホームページをご確認ください。

## 【医療安全管理者養成のための研修について】

本学術総会の教育セミナー「医療安全」へ事前申込をして参加された方には、履修証明を発行します。

※詳細は、日本医療マネジメント学会雑誌24巻4号及び第26回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページを参照ください。

第26回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ

<https://www.congre.co.jp/jhm2024>



## ■支部学術集会開催報告■

### 第22回栃木支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構栃木医療センター院長  
田村明彦

2023年10月14日(土)とちぎ健康の森にて第22回日本医療マネジメント学会栃木支部学術集会を開催しました。

今回の学術集会のテーマは「少子高齢化時代を支える地域医療」とし、栃木県保健福祉部地域医療担当の早川貴裕先生から、今後の地域医療政策について講演して頂きました。パネルディスカッションでは、国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科の山本康弘教授を座長として、つるかめ診療所所長の鶴岡優子先生、小山市社会福祉協議会第1層生活支援コーディネーター 室橋正枝先生、社会福祉法人とちぎYMCA福祉会総合施設長・常務理事 塩澤達俊先生より、高齢者を地域で支えていくために、病院、在宅医療、ケアマネジャーのそれぞれの立場からのご意見を伺いました。

一般演題(ポスター発表)は14件、参加者は135名でした。

開催にあたり、多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

### 第20回京滋支部学術集会

学術集会会長：市立長浜病院院長浜市病院事業管理者および  
院長 高折恭一

2023年10月28日(土)に『長浜文化芸術会館および北ピワコホテル グラツィエ』にて、第20回京滋支部学術集会を現地開催しました。京滋支部学術集会プログラム委員会の皆さまと相談のうえ、学術集会テーマは『We Are One Team! 気持ちよく働ける職場をめざして』とさせていただきました。

最初に、多職種が連携したチーム医療により手術後回復を促進するEnhanced Recovery After Surgery (ERAS)についてのセミナーを実施し、続けて一般演題の発表を行っていただきました。特別講演では、一般社団法人AIM医学研究所代表理事の宮崎 徹先生に『猫が30歳まで生きて人の透析がなくなる日まで』についてご講演をいただきました。午後の基調講演では、『One Teamとして考えるTeam STEPPSと医療安全』として、京都医療センターの高田 幸千子看護部長にご講演いただき、引き続いて各分野のエキスパートからなるパネリスト5名でパネルディスカッションを行